

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202018

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	スポーツ教室推進事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	回数及び人数	関係課	#N/A	
事業目標	学社2回50名 さわやか9回100人 わんぱく7回100人 AED2回50人 ジュニア5回50人	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 参加者を募り開催	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	生涯スポーツをめざして、各ライフステージに応じた、スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. さわやかウォークデー 3. わんぱくスポーツ道場 4. AED講習会 5. ジュニアスクール	スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. さわやかウォークデー 3. わんぱくスポーツ道場 4. AED講習会 5. ジュニアスクール	スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. わんぱくスポーツ道場 3. AED講習会 4. ジュニアスクール	スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. わんぱくスポーツ道場 3. AED講習会 4. ジュニアスクール	スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. わんぱくスポーツ道場 3. AED講習会 4. ジュニアスクール	スポーツ教室等の実施 1. 学社融合ブルームボール教室 2. わんぱくスポーツ道場 3. AED講習会 4. ジュニアスクール
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,200	240	240	240	240
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,200	240	240	240	240
実 績 事 業 費	事業費(千円)	633	164	125	129	116
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	44	23	21		
	一般財源	589	141	104	129	116
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)  【評価・実績】	(実施内容等) 学社融合ブルームボール教室 わんぱくスポーツ道場 AED講習会 ジュニアスクール  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 学社融合ブルームボール教室 わんぱくスポーツ道場 AED講習会 ジュニアスクール  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 学社融合ブルームボール教室 わんぱくスポーツ道場 AED講習会 ジュニアスクール  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 学社融合ブルームボール教室 わんぱくスポーツ道場 AED講習会 ジュニアスクール  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 学社融合ブルームボール教室 わんぱくスポーツ道場 AED講習会 ジュニアスクール  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	43回 1200人	43回 1200人	43回 1200人	25回 350人	25回 350人
	年度達成率	68%	52%	54%	48%	41%
	全体達成率	14%	24%	35%	45%	53%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

事業名	スポーツ教室推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加者数
【抱える課題やニーズは】	参加者の固定・減少化の解消及びスポーツ参加の促進。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	子どもから大人まで、一人でも多くスポーツに親しむことを目指す。	①	参加者数
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	スポーツに親しむ機会を提供し、運動の楽しさを実感することによるスポーツ意欲の促進及び身体の自己管理技術を身につけることを目的とする。		目標年度 平成24年度
			目標値 350人
			実績値 304人
			達成度 86.9%
		②	目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各種スポーツ教室の開催	町広報、学校、新聞チラシ等による周知を行い、スポーツ推進委員、体育連盟等の指導者協力を得て教室を開催した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民が気軽にスポーツに親しむ機会が減少しており、生涯スポーツの推進を図るためにも各年齢層のスポーツ活動の参加促進を図る必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	幅広い年齢層のスポーツ活動が促進され、事業終了後も参加者が自主的に活動を行うなど、町民ニーズに沿ったプログラム提供ができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町民が指導を行うことにより、低予算で実施することができた。また、外部指導者を招へいする際も低予算で行っていることから、効率的に実施している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

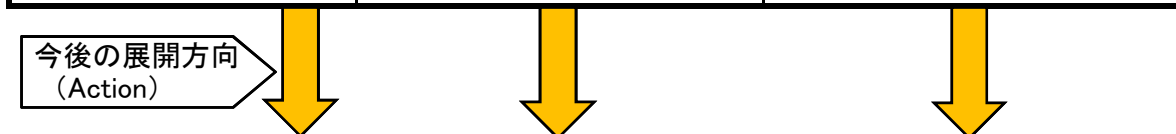
公平	判断の理由	一般町民を対象としており、広く参加を呼びかけていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の健康・体力づくりに寄与するために必要な事業であり、町民のニーズに配慮し実施した。		



継続/現状維持		
町民のスポーツ環境向上のため、事業を継続する必要がある。特にブルームボールは、町が奨励するスポーツであり、活動の活性化には指導者の養成等継続的サポートが必要である。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止